

第26回兵庫県消防操法大会 開催！



操法競技（放水）



発行所
公益財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 岸 谷 義 雄
題字 井 戸 知 事

危険物
決める無事故の
ストライク

平成二八年八月七日（日）、兵庫県広域防災センター・北グラウンドにおいて、第二六回兵庫県消防操法大会が開催されました。

当日はまさに夏本番の暑さの中、県下各九地区から選抜されたチーム（小型ポンプの部一隊、ポンプ車の部七隊）が日頃の訓練の成果を存分に発揮し、暑さに負けない熱気溢れる大会となりました。

大会は、神戸市消防音楽隊の皆さまによる演奏のもと、北山副会長が務める総指揮者を先頭とする入場行進で幕を開けました。

【開会式次第】

- 一. 開会のことば
（中西副会長）
- 二. 国旗掲揚
- 三. 黙とう
- 四. 優勝旗返還
（ポンプ車の部・南あわじ市消防団、小型ポンプの部・福崎町消防団）
- 五. 大会会長あいさつ
（岸谷消防協会会長）
- 六. 激励のことば
（井戸知事）
- 七. 来賓祝辞
（藤本百男県議会副議長）
- 八. 選手宣誓
（多可町消防団 数原 慎次）
- 九. 審査長注意
（藤森広域防災センター長兼消防学校長）

競技は、小型ポンプの部、ポンプ車の部の順に行われました。

各出場隊とも訓練の成果を十二分に発揮し、迅速かつ安全・正確な動作で火点に向け

て放水が行われ、火点が落ちる度に応援団、観客から声援と拍手が沸き起こりました。

全出場隊の操法終了後、大会審査長から審査結果の発表が行われると、会場からは出場選手に対して惜しみない拍手が送られました。大会結果は次のとおりです。

【大会結果】

- 小型ポンプの部
- 優 勝 福崎町消防団
準優勝 多可町消防団
第三位 神戸市北消防団 Aチーム

- ポンプ車の部
- 優 勝 南あわじ市消防団
準優勝 赤穂市消防団
第三位 姫路市網干消防団

表彰式の後、大久保防災監からの講評と松田副会長の開会のことばをもって、第二六回兵庫県消防操法大会は幕を閉じました。

なお、この度、ポンプ車の部で優勝した南あわじ市消防団の出場隊の皆さまは、一〇月一四日（金）に長野オリンピックスタジアム（長野県長野市）で開催される第二五回全国消防操法大会に兵庫県代表として出場します。がんばってください!!



開会式の様子

操法競技(ホース延長)

全力疾走!



激励のことは(井戸知事)



大会会長あいさつ(岸谷会長)



入場行進



操法競技(ホース延長)



審査員の皆さま



操法競技(筒先員交替)



操法競技



選手宣誓



岸谷会長から優勝旗を授与される
福崎町消防団(小型ポンプの部)



大久保防災監から優勝旗を授与される
南あわじ市消防団(ポンプ車の部)



操法競技(放水止め)



操法競技(排水)

「第二五回全国消防操法大会」に向けて

南あわじ市消防団

去る八月七日に、兵庫県広域防災センターで開催されました兵庫県消防操法大会ポンプ車の部において、南あわじ市消防団から神代第一分団が出場しました。結果は、日頃の練習の成果が実り、優勝することが出来ました。

来る一〇月一四日には、長野県の長野オリンピックスタジアムで開催されます全国消防操法大会に兵庫県代表として出場することが決定しています。

今回、出場します神代第一分団は、当市消防団五九分団ある中でも特に操法の訓練が熱心な分団です。選手たちは全国大会出場を目指して四年前から毎日のように厳しい練習をしてきました。昼間の仕事で疲れている中、深夜まで練習しています。選手だけでなく、幹部の方々も時には厳しく指導しながら常にそばで見守っています。

当分団は、四年前に前回の選手で念願だった全国大会初出場を果たしました。ですが当日、会場や他県の選手等の雰囲気圧迫されてしまい、緊張したこともあって今までの実力が発揮できず、入賞にもあと一歩及びませんでした。ですので、今回の選手たちは、そんな前回の選手の悔しい思いを受け継いで、全国大会出場はもとより上位入賞を目指して、より一層厳しい練習をしてきました。

毎日、家にいない団員の家族の理解と協力はもちろんですが、消防団だけでなく、淡路広域消防事務組合や南あわじ市全体で応援しています。

真夏の県大会と秋の長野県の全国大会では気候等様々な面で異なります。選手も各自体調管理をしっかりし、当日は万全の態勢で臨みたいと思っています。



消防庁ホームページ：
http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_5.html

救急車の適正利用 ～ショートムービー コンテスト～

消防庁

救急車の出場件数は、近年ほぼ一貫して増加しており（平成一六年と比べて約一九％増加）、高齢化の進展等により、今後も増分増加することが見込まれています。しかし、救急車は地域の限られた資源であるため、このままでは真に緊急を要し、救急車が必要な方への対応が遅れてしまう可能性があります。

そのため、救急車の適正な利用方法については、消防機関だけではなく、地域住民の一人一人が問題意識をもって考えていただくことが必要です。この度、地域の限りある救急車を有効に利用する方法を考えていただくきっかけとなるような動画を国民のみならず、さまざま募集した結果、一般、学生A（大学生、専門学校生）、学生B（高校生以下）のそれぞれの部門で素晴らしい作品が集まりました。是非ご視聴ください。

救急車の適正利用 キャンペーンの実施

兵庫県下消防長会

平成二七年中の兵庫県内の救急件数は二六万八、四三六件（速報値）で前年より三、八〇〇件（約一・四％）増加しています。

安易な救急車の利用により、真に緊急性の高い傷病者への対応が遅れないために救

急車を正しく使っていたら、兵庫県下消防長会では、県下一斉救急車適正利用キャンペーンを実施しています。

救急車の適正利用についての皆様のご理解・ご協力をお願いします。

【実施期間】

平成二八年九月一日（木）から

九月一九日（月）

※九月九日救急の日を含む救急医療週間（九月四日～九月一〇日）に関連して、兵庫県下統一のキャッチコピーとポスターを用いて、救急車の正しい利用方法について理解と認識を深める。

【平成二八年度のキャッチコピー】

『“いのち”を運ぶ救急車』

適正利用に協力を！

“いのち”をはこぶ 救急車 適正利用に協力を！



こんな時は迷わず119番！



九月は防災月間です。

今後三〇年以内に南海トラフで発生するマグニチュード八以上の地震の確率は約七〇%とされており、一人一人が備えをしておく必要があります。また、最近では北海道・東北地方に大きな被害をもたらした台風など、災害はいつどこで発生するか分かりません。今、もし災害が発生したら…。

ぜひ防災月間のこの機会に、災害への備えを見直しましょう。

阪神・淡路大震災記念人と防災未来センターホームページには、以下の減災グッズチェックリストが掲載されています。〇次の備え（いつもケータイ）、一次の備え（非常持ち出し品）、二次の備え（安心ストック）とそれぞれの場面での品目があげられています。この減災グッズチェックリストをもとに、災害への備えを進めましょう。

この減災グッズチェックリストは、
阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター
ホームページ（<http://www.dri.ne.jp/>）
からダウンロードできます

減災グッズを備えよう！

①いつもケータイ

①非常持ち出し

②安心ストック

チェックリスト

活用版

今回チェックした日：年 月 日

次回チェックする予定の日：年 月 日

family

name

新しい用紙が必要な時はダウンロードしよう！ www.dri.ne.jp

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター

●どこに逃げるか、確認しておこう！

■町内・自治会などが決めた避難所＝

■市町村が指定する避難所＝

■家族で連絡が取り合えない時に約束しておく待ち合わせ場所：

・普段の生活をしている時＝

・旅行に出かけている時＝

■非常時の連絡先・電話番号

なまえ TEL

なまえ TEL

なまえ TEL

■memo 大切な情報

このリストは1995年1月17日に起こった阪神・淡路大震災の被災経験者の声を反映させて作った「非常持ち出し品リスト」を、その後17年以上の月日が流れの中で変化した社会情勢や、進化した防災・減災の知識を考慮に入れ、誰もが自分の備えをはじめるためのガイドとなるよう改定したものです。これを使って巨大地震をはじめ、いつかは遭遇するかもしれない自然災害への備えを進めてみてください。

【この用紙はダウンロード・コピーして、減災の普及にご活用ください。】（できれば活用の実績をメールでご報告ください。kikaku@dri.ne.jp）

0 次の備え

いつもケータイ！

「非常持ち出し品」として備えるものの中から、携帯ができそうなものは、いつも使うバックや、ポケットに入れ、身につけてみよう！

いつどこで被災するかわからない災いへの安心感を持ち歩こう。

1 次の備え

非常持ち出し品

家庭や勤務先……1日の多くを過ごす場所には「非常持ち出し品」を備えよう！とっさの時に、●被災の1日、命が安全なところに逃げるときにこれだけは持っていきたい、という最低限の備え。●合わせて、近所を守って逃げやすいところ、●どこに置く？玄関・寝室……持ち出しやすいところに、●車のトランクに予備を置くのも良い。

2 次の備え

安心ストック

非常時、ライフラインが途絶え、もしも助けの手が届かなかったとしても、何日間かは自給自足してしのげる物品を備えよう！

●キッチンや、押し入れ、ガレージ、物置などに、ケースにまとめ取り出しやすく、持ち運びしやすい。

●炊飯器など消耗品は、少なくとも3日間分は備えたい。

●ライフラインが止まった家で、被災生活を過ごすことになるかもしれない時に、安心なセットを考えよう。

●グッズを揃える心がけ、4つ。

1年に2回は、チェックしよう！

■次のチェック日を決めておこう。

■飲料・食品の賞味期限、薬品や電池の使用期限等をチェックして新しいものに交換しよう。それぞれの品物が古くて劣化していないか、確認しよう。

■保存食品は交換の際に試食しよう。

■衣類など、季節で変わる必需品を取り替えるために、年2回、春と秋。

使い方を覚えよう、身につけよう！

■つかい方を身につけてこそ、いざという時に役立つ。慣れ親しんで、身体で覚えられるような機会を持つ。

・ロープの結び方

・救急トイのつかい方

・救急箱の中身、ケガの手当

・三角巾のつかい方

・簡易防炎具（サイリウムブランケット）……etc.

日用品の汎用性。工夫・知恵を知ろう！

■日常的に使うものは、いざというときにさまざまな用途で役立てられる。それぞれの可能性を知り、実際に試してみよう。

・新聞紙、ラップ、ビニール袋……

■これまでの被災経験者の声から、知恵・アイデアを調べてみよう。

■情報をウェブサイトなどでも入手・確認してみよう。

「自助」に加えて、「共助」の備えも。

■いざという時は誰もが、助け、助けられる立場になる可能性がある。わが家の備えだけでなく、町内会・自治会などでの共同の備えが、どこに、どのようにあるか、確認しておこう。

■自治体からのハザードマップ、非常時の行動、備えのインフォメーションを確認しておこう。

■地域の防災訓練に参加しよう。

備えを進める 減災グッズ チェックリスト					記入の○は、0、1、2のどの備えとすべきかを検討した補足情報です。					○を参考に、あなた自身、あなたの家庭、通勤・通学先の備えを検討してください。					あなた自身にとって必要な数量、品目の3ステップをプランし、活用ください。								
分類	品目	0	1	2	メモ	分類	品目	0	1	2	メモ	分類	品目	0	1	2	メモ	分類	品目	0	1	2	メモ
基本品目	バック					基本品目	救急					個別に検討する品目	貴重品					備蓄する生活用品目	衣				
	非常持ち出し袋						救急用品セット						予備鍵（家・車等）						衣類				
	水						毛抜き						予備メガネ・コンタクトレンズ						毛布				
	食						持病薬・常備薬						通帳・証書類のコピー						雨具（ポンチョ・雨合羽など）				
	非常食						マスク						印鑑						保存食類				
	ヘルメット・防災ずきん・帽子など						簡易トイレ						女性						塩・調味料				
	ホイッスル						ティッシュペーパー・トイレットペーパー						生理用品（おむつのシート）						食器類（皿・コップ・箸・フォーク・スプーン）				
	手袋（作業用）						ウェットティッシュ						防犯ブザー						ラップ				
	運動靴						使い捨てカイロ						くし・ブラシ、鏡						アルミホイル				
	懐中電灯（予備電池・電源も）						サバイバルブランケット						化粧品						缶切り				
道具	万能ナイフ類					防寒	ハンカチ（大判）・手ぬぐい					乳幼児	髪の毛をくくるゴム					住	カセットコンロ・ボンベ				
	ロープ（10m）						タオル						介護手帳						歯磨きセット・洗口剤				
	情報						安全ピン						紙おむつ						ドライシャンプー				
	携帯ラジオ（予備電池も）						ポリ袋						入浴用品						重曹				
	携帯電話（充電器・バッテリーも）						ビニールシート（ジャンケット・ブルーシート）						紙おむつ						ふろしき				
	連絡メモ・備えリスト						ライター（マッチでも）						コミュニケーションを助ける手段						予備電池（バッテリー）				
	身分証明書（そのコピー）						布ガムテープ						落ち着ける・安心できるもの						工具類				
	油性マジック（太）												要保護者と確認できる外装						地図（避難用・帰宅支援用などの）				
	現金（10円硬貨含む）												ペット						新聞紙・ダンボール				
																			ローソク				



平成二八年度第一回 女性消防団員技術研修会

(公財)兵庫県消防協会

平成二八年七月一六日
(土) 兵庫県消防学校にて今年度一回目の女性消防団員技術研修会を開催し、県内から四五名の女性消防団員が参加されました。

この度の研修は、救急講習のみとし、まず午前中に消防学校教官から座学を講義していただき、午後からは実技の指導をしていただきました。そして今回は、教育効果を高めるために少人数制とし、さらに参加者の経験別に班分けを行い、それぞれの班ごとにきめ細かく丁寧な指導をしていただきました。

この内容だけではなく新しいガイドラインの変更内容や、市民へ救急指導を行う際のポイント、救急現場でのエピソードなど盛りだくさんの内容でした。

経験別の班分けを行ったことで、初級の方々は基礎をじっくり学ぶことができ、中級、上級の方々は新しい知識を得、これまでの自分の知識を振り返り、新しい学びに繋げることができたようです。

教官が「本日の研修会で自信をつけていただき、自信を持って市民へ指導して欲しい。」ということをおっしゃっていました。参加者は、研修会後のアンケートで「深い知識と技術の向上ができた」という感想を書いており、「もっと長い時間学びたかった」という意見が多々ありました。

少人数での研修会は初の試みでしたが、参加者からは好評で「じっくりと落ち着いて学ぶことができ、質問もしやすかった」「交流の場としても自然になじみやすかった」との感想をいただきました。

今後も、女性消防団員の皆さんが活動する上での指針となるような研修会を開催したいと考えております。

今後とも積極的なご参加をお願いします。

- この度の研修会参加消防団は次のとおり。
- ・神戸市東灘消防団
 - ・神戸市灘消防団
 - ・神戸市中央消防団
 - ・神戸市北消防団有馬支団
 - ・尼崎市消防団
 - ・芦屋市消防団
 - ・伊丹市消防団
 - ・豊岡市豊岡消防団
 - ・赤穂市消防団
 - ・川西市消防団
 - ・三田市消防団
 - ・丹波市消防団
 - ・南あわじ市消防団
 - ・淡路市消防団
 - ・猪名川町消防団
 - ・上郡町消防団
- ※上記参加者他、県内消防本部職員・市町防災担当職員等一七名

よろしくお願いします。
最後になりましたが、本研修会にご協力くださった、県消防学校の皆さま、本当にありがとうございました。



教官へ質問中



座学



実技



実技



座学



AEDを実施中



実技



座学



胸骨圧迫の結果データを確認中



『活気あふれる市川町消防団』

市川町消防団



市川町消防団は二六分団で構成しており、各分団庫には消防車や消防ホース、消防器具を保管・管理しております。市川町消防団の活動については、出初式、幹部・新入団員教養訓練、毎年行われる町操法大会、地元住民との合同訓練、水防訓練、春・秋の火災予防啓発運動などがあります。

市川町は、兵庫県の中央からやや南西に位置し、町のほぼ中央を南北に流れる市川を中心にかけています。市川町消防団は、平成二八年一月から開始されたマイナバー制度や、平成二八年度から年間活動報償金を引き上げることに伴い、所属団員の実態調査に乗り出しました。その際、マイナバーにかかる必要書類の提出がなかった者や団活動継続の意思が確認できなかった者を退団させました。その結果、平成二七年度末時点での団員数は六〇〇名(条例定数六〇〇名)でしたが、平成二八年度は五三九名(条例定数は六〇〇名)となり、実際に活動する者のみ残った精鋭部隊へと再編しました。団員平均年齢は三二・一九歳と県下トップクラスの、若者の活気あふれる消防団です。



町操法大会

主な活動としては、平成二八年五月二二日に市川町立川辺小学校で消防操法大会を実施しました。それぞれが大会に向けて日夜訓練に励み、消防の基本となる動作及び礼式の習得・器具の取り扱いを確認しつつ大会に臨みましました。次に、市川町消防団員の大半がサラリーマンで昼間は仕事に出て留守のため、日中も自宅に居られる婦人や老人会の方々と連携して、年一回分団内に設置している消火栓器具格納箱内のスタンドパイプ・ホース・筒先等を使用して、実際の火災時における初期消火の訓練を分団員指



幹部・新入団員教養訓練

『自分たちのまちは自分たちで守る』

上郡町消防団

上郡町は、兵庫県の南西部に位置し、名水百選の清流千種川が流れる温暖な気候に恵まれた、人口約一万五千人の町です。東西を結ぶ山陽本線と南北を結ぶ智頭急行が交差し、古代より京阪神と中国地方とをつなぐ交通の要衝として、また播磨臨海工業地帯の後背地として発展してきた歴史を持ち、数多くの文化・観光スポットがあります。

上郡町消防団は、団本部と一九個の分団から構成され、団長以下約四七〇名の団員が、火災・水害・その他の災害への対応、さらに防火啓発、警戒・パトロール、防災訓練の指導、イベントの警備など、年間を通じて様々な活動に従事しています。また、団の主

導の下行つています。今後も、我々市川町消防団は、責任ある行動と町民の安全、安心のため、地域住民の期待に応えられる消防団として、左納団長のもと団員皆が、一致団結、精進してまいります。



地域合同訓練



消防出初式：桜舞う春、防火の誓い新たに

な装備として、消防ポンプ自動車四台、小型動力ポンプ積載車一台、活動車一台、司令車一台を有し、火災等に即対応できるような機能を整備・強化しています。

平成二八年四月三日、上郡町消防出初式を挙行し、消防団は女性二名を含む二六名の新入団員を迎え、新たな体制でスタートしました。女性団員の採用は初めての試みであり、出初式本番で早速式の進行やアナウンスに従事していただきました。今後も防災啓発や行事運営などソフト面での活躍が期待されています。今年度は、操法大会への参加など非常に多忙な年です。各分団は通常活動に加えて、操法の猛訓練を続け、技能を高めてきました。六月二六日に開催された西播磨地区消防操法大会においては、惜しくも入賞



町操法大会：火点に向かって全力疾走！



中継放水訓練：山火事に備えよう

は逃したものの、訓練の成果が存分に発揮され、充実した大会となりました。また、七月三〇日に開催された上郡町最大のイベント「川の都」かみごおり川まつりでは、四年ぶりに盛大な花火大会が催され、多くの団員が防火と事故防止のために警備に従事し、観客の安全確保に努めました。さらに、消防団が救命協力の一環として、長年に渡り取り組んできた献血運動が高く評価され、日本赤十字社より表彰を受けることになりました。今後は、災害対応能力を養うため、地域住民との合同による防災訓練も実施する予定で、その後も防火パレード、救命救命講習、年末特別警戒など数多くの行事があります。

このように、上郡町消防団は災害の発生に常に備えながら、様々な活動に積極的に取り組んでいます。多くの市町村と同じく、団員の減少が喫緊の課題となっています。地域消防力を維持するため、



合同防災訓練：共にふるさとを守るために



防火パレード：消防車両勢揃い

「自分たちのまちは自分たちで守る」これは今後も変わることのない消防団の基本理念です。この理念を実現するため、消防署や関係行政機関、地域の防災組織とさらに連携を深めながら、消防責務を果たしていきたいと思ひます。

考えています。

団員の確保に努めるのは無論ですが、女性消防団員の増員や、機能別消防団制度の導入など、これまでと異なる観点から組織・機能の充実強化を図っていききたいと思ひます。

わが町の団長さん

「地域住民を守る

熱血団長」

姫路市夢前町消防団

本郷 貴之



姫路市夢前町は平成一八年三月に姫路市と合併、市の北部に位置し南北二四キロメートル、東西一〇キロメートル、人口二万二千人余りで、姫路市八消防団の中で最も大きな

管轄面積をもつ地域です。町内には夢前川、菅生川が流れ、全国的にも登山客が多く訪れる名峰雪彦山や播磨富士と呼ばれる明神山があり、また姫路の奥座敷でもある塩田温泉がある自然豊かな町です。

本郷団長は昭和五六年七月に入団以来、分団長、副団長を歴任され、平成二八年四月に団長に就任されました。七分団五六〇名の団員の先頭に立ち、永年災害現場で培われた経験とその卓越した指導力を発揮され、地域住民の防災リーダーとして昼夜を問わず、ご活躍をされています。そんな団長のもう一つの顔は趣味のゴルフです。健康管

理のため、また体力強化のために僅かの時間を見つけては、練習場やコースを廻り、いざというときの災害発生等に迅速な対応ができるよう日々、心身の鍛錬と体調管理を心がけておられます。

緊急時の火災出動や水防活動での災害発生時には、誰よりも素早く現場に駆けつけ先頭に立って指揮を取り、特に山岳での救助活動では長時間に渡り行方不明者の捜索活動に奔走されており、その活動は、常に地域住民から厚い信頼を得ています。

団長は夢前町消防団の良き伝統と団結を重んじられ、時代の変遷に的確に対応できる消防団体制を目指しておられ

常に自分に厳しく、新入団員研修では、自ら訓練礼式の基本を実践し、特に団員の規律面には日頃から厳しく指導されています。

団長が行う敬礼動作には威厳があり、風格と気品に満ち溢れ、若手団員達の憧れであり目標にもなっています。その反面、心優しい気配りとユーモアで、皆が団長に絶大な信頼を寄せています。

団長は、日頃から「地域住民を災害から守っていくのが、我々消防団の責務である。」をスローガンとして、地域住民の防火防災のため、熱心に消防団活動に取り組みられている頼もしいバイタリティー溢れる熱血団長さんです。

われら若手消防団員

～兵庫県消防操法大会に出場して～

養父市消防団 八鹿第一分団 内田 達也



私が養父市消防団に入団したのは三年前です。所属する八鹿第一分団は、ポンプ車を二台所有する比較的大きな分団です。

私は、昨年行われた市操法大会ポンプ車の部の二番員として出場し、見事優勝を成し遂げました。その結果、今年八月に開催された第二六回兵庫県消防操法大会に但馬代表として出場することができました。

県大会に備え、四月から週に三日の訓練を積み重ね、先輩団員の指導を受けながら技術の向上に努めてきました。五人の選手の中で四人が県大会初出場で、とりわけ私は県大会すら見たことがなく、「どんな雰囲気なんだろう？」という不安な気持ちと「よし、やってみようぞ！」という二つの気持ちが共存していました。

大会当日は、市の大会とは全く違う雰囲気の中、今まで経験したことのない緊張感で出場順を待ち、競技に出場しました。結果は、惜しくも入賞は逃しましたが、今回の操法訓練で得るものがたくさんありました。練習でできないことは本番ではできないこと、練習した分だけ結果はついてくるということです。互いの分団が競い合うことで技術の向上や意欲が高まり、何より、大勢の先輩方から消防人としての知識や技術、基礎を学ぶことができました。

今回の貴重な経験を礎に、地域防災の要として期待される消防団員を目指して力いっぱいがんばっていききたいと思いました。



がんばってます、女性消防団員

『私たち

女性消防団員にできること』

小野市消防団女性分団

(サンフラワーズ二一九)

柳川瀬 佳奈



私が消防団女性分団に入団したきっかけは、東日本大震災の被災地ボランティア活動で、災害の脅威や危機を軽視してはいけないことを痛感し、自主防災の重要性を学んだからです。そして、それをもっと多くの方々に伝える活動がしたいと考えました。

入団後は、防災に関する普及啓発活動や防災教育などを通し、子どもから高齢者まで幅広い方々と直接触れ合いながら、防災の重要性を呼びかけることができる活動にやりがいを感じています。地域に密着した活動ができるのは、女性消防団員ならではの魅力であり、女性たちが活躍できるあらゆる場を与えていただいていることに感謝しながら、日々多くのことを学んでいます。

直近においては、熊本県で発生した地震を受け、避難所の在り方について考えさせられました。私たちは、避難所運営に関する取り組みに重点を置いていきます。災害発生時のあらゆる状況を想定し、私たち女性消防団員が率先してリーダーとなり、避難所運営ができることを目指しています。様々な講習を受け、ノウハウを学ぶなど、みんなで避難所の在り方について意見を交し合っています。災害発生時に、知識を活かし、行動に移すことができるようになるには、普段から個々の意識や日常生活に防災を取り入れていくことが必要です。今後も、市民一人ひとりに防災を身近なものとして捉えていただくよう、女性ならではのきめ細かい視点で考え、女性であることを強みに、工夫しながら普及啓発活動に取り組んでいきます。そして、個々の自主防災レベルを向上させ、まち全体の防災力を高めていきたいです。



地域のお知らせ

淡路市

日本遺産認定 淡路島のストーリー

淡路市は、兵庫県の南部、淡路島の北端から中央部にかけて、島の北側約三分の一を占め、明石海峡大橋を通じ本州と隣接する、淡路島のウェルカムシティです。また、史跡徳島藩松帆台場跡、伊弉諾神宮、国指定天然記念物野島断層など名所・旧跡が数多く存在します。

この度、平成二八年四月に洲本市・南あわじ市を含めた淡路島三市による『古事記』の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」く古代国家を支えた海人の営みくをタイトルとしたストーリーが日本遺産に認定されました。

日本遺産とは地域に点在する様々な文化遺産を、地域の歴史的魅力や特色を活かしたストーリーで結び、地域が主体となつて総合的に整備・活用することによって、わが国の文化・伝統を国内外に戦略的に発信し、地域の活性化・観光振興に結びつけようとするものです。

今回、認定されたストーリーは、古代人の世界観や宇宙観までもが描かれているとされる神話の世界の壮大さや奥深さとその中で重要な位置を占める「国生み神話」と淡路島の関係、その神話が生まれた背景にある海人と呼ばれた海の民の活躍とそれによって築かれた島の歴史の魅力、それらが現代の島にどう受け



貴船神社遺跡



五斗長垣内遺跡

継がれているかが描かれています。そして島内各地に存在する三一件の構成文化財によって語られています。淡路市では、古代国家形成の原点と考えられる弥生時代の五斗長垣内遺跡や舟木遺跡、『日本書紀』に登場する古墳時代の海人の活躍が想像できる貴船神社遺跡や石の寝屋古墳群、海人が活躍した明石海峡と松帆の浦、そして国生み神話ゆかりの地である伊弉諾神宮や絵島など、一一件の文化遺産が日本遺産のストーリーを語る構成文化財と認定されました。

「国史跡多田銀銅山」と豊かな自然の猪名川町！

猪名川町

兵庫県の南東部、大阪府との県境に位置する猪名川町は、人口約三万二千人の小さな町です。能勢電鉄日生中央駅から阪急電鉄宝塚線梅田駅までは、乗り換えなしで最短四五分。大都市近郊にありながらも町域の八割を山林が占め、阪神地域最高峰の大野山（標高七五三メートル）や、そこを源流とする清流猪名川など、町内の至る場所で、豊かな自然や四季の移り変わりを感じることが出来ます。

大野山頂には「猪名川天文台」があり、口径五〇センチメートルの反射望遠鏡からは、

これにちみまで淡路島三市それぞれに特色ある歴史とそこから生まれる個性豊かな文化が育まれてきましたが、それが日本遺産として一つに結ばれたことで、より壮大な魅力あふれる歴史ストーリーを語ることが可能になりました。

ぜひ、淡路市そして淡路島にお越しいただき、国生みの島・淡路のストーリーやストーリーを構成する文化財の数々を是非ともお楽しみください。



絵島



大野山と天文台

肉眼では見えないとても小さな星まで観ることが出来ます。山頂付近まで車で登ることのできる気軽さなどからも、子どもから高齢者まで大人気です。

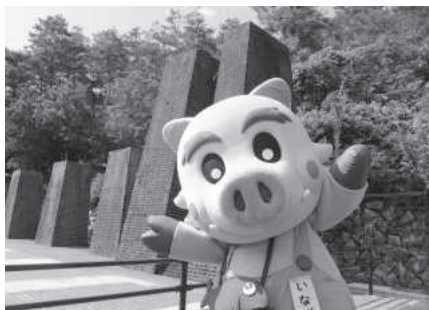
肉眼では見えないとても小さな星まで観ることが出来ます。山頂付近まで車で登ることのできる気軽さなどからも、子どもから高齢者まで大人気です。

「道の駅いなわがわ」では、豊かな自然の中で農家の人たちが心を込めて育てた新鮮野菜が大人気。特産品の十割そばの「そば打ち体験道場」やここでしか味わえない「そばソフトクリーム」などもあり、年間約七〇万人の観光客が訪れる観光スポットとして親しまれています。



青木間歩

【お詫びと訂正】	
兵庫消防平成二八年七月一五日発行第六六五号の地区消防操法大会の記事（四面）において、淡路地区の表に空欄がございました。お詫び申し上げますとともに、次のとおり訂正いたします。	
【淡路地区】	
・ポンプ車の部	優勝
・南あわじ市消防団	準優勝
・洲本市消防団	優秀
・淡路市消防団	優勝
・洲本市消防団	準優勝
・南あわじ市消防団	優秀



製錬所跡といなぼう

編集後記

朝夕は暑さがやわらぎ、過ごしやすい季節がやってまいりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

今月号は第二六回兵庫消防操法大会の様子を掲載しております。県大会に向けて厳しい練習を重ねられた出場団の皆様、お疲れさまでした。操法を実施されている姿はとも格好良かったです。また、応援してくださった皆様、暑い中ありがとうございました。当日は、県消防学校の皆様、各地区から推薦のあった消防職員の皆様に操法の審査をしていただくなど、多くの方にご協力いただきました。この場をお借りして改めてお礼申し上げます。

全国大会に出場される南あわじ市消防団の皆様におかれましては、県代表の誇りを胸に存分に力を発揮してきてください。事務局一同応援しております。

夏の疲れが出やすい時期ですが、体調管理には十分ご注意ください。

